

KINKAN SHONEN

金柑少年

SANKAIJUKU

山崎塾



2016年2月7日 | 日 |

14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 中劇場

KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

KINKAN SHONEN

金柑少年

『金柑少年』は、1978年に東京の日本消防会館ホールで初演され、山海塾は本作を信じ、踊る場を求めて、1980年にフランスへ旅立ちました。同年のナンシー国際演劇祭で上演されて以来、1993年パリ市立劇場での最終公演まで、世界21カ国113都市で上演を重ねました。そして、2005年にリ・クリエーション(再創作)され、天児は演出・振付に徹し、要ともいえるソロパートを若手舞踏手が担います。現在も受け継がれる山海塾初期の記念碑的作品。日本では7年ぶり、北九州では9年ぶりの再演となります。

千数百匹のまぐろの尻尾が壁一面に打ちつけられた舞台。そこから原初の生き物の鼓動が聞こえてくる。少年期の悪夢、エロティシズム、思い出されることのない心象風景の断片が、鮮明にそして強烈に舞台上で展開される。この「生命の起源を問う少年の夢」の連なりは、やがて成人することの痛み、絶望、歓喜へと向かい、終盤、圧倒的な感動を呼び起こす――。

ミュージック・ホールの下卑た気取り、性をはるかに通りこす強烈なエロティシズム、打楽器の轟き、西洋音楽のけばけばしさ、そして静寂、高貴な儀式舞踏に、会話のない物語が混ざり合う――開いた口からほとばしる静かな叫び声の重み、異様な旅、息も詰まるような時間――。山海塾は我々の知覚、価値観を根本から覆した。(ル・モンド紙 '80)

特定なものにとどまりながら普遍的であろうとし、散在する過去から共有された記憶を喚起する――この作品の素晴らしさは、パドクスのもっとも複雑に絡まりあう部分を紐解く無限性にある。山海塾が類希なのは、一点の濁りもないメタファーに到達している点だ。彼らは他のいかなるものにも類似しない。(ザ・ニューヨーク・タイムズ紙 '86)



演出・振付・デザイン=天児牛大 音楽制作=吉川洋一郎

演出助手=蟬丸 舞踏手=竹内 晶、市原昭仁、長谷川一郎、松岡 大、石井則仁、百木俊介

初演=1978年 日本消防会館ホール リ・クリエーション=2005年 びわ湖ホール、パリ市立劇場

2016年2月7日 | 日 | 14:00開演
(13:30開場)

◎チケット料金(全席指定・税込)

一般 4,500円/ユース(24歳以下・要身分証提示) 2,500円

※天児牛大によるポストパフォーマンスストーク有り

○未就学児入場不可

○託児有(有料・定員有・要予約)<9:00~19:00受付>

お問い合わせ フリーダイヤル0120-400-829 / tel.093-882-5063

◎一般前売開始

2015年11月22日(日)

◎チケット取扱

北九州芸術劇場 プレイガイド(10:00~19:00)

オンラインチケット(北九州芸術劇場HP)

093-562-8435(10:00~17:00土日祝休)

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード446-545)

ローソンチケット 0570-084-008(Lコード88844)

◎お問合せ

北九州芸術劇場 093-562-2655

主催=(公財)北九州市芸術文化振興財団

共催=北九州市

後援=アンステイチュ・フランセ九州

化粧品提供=SHI/EIDO

INSTITUT
FRANÇAIS
アンステイチュ・フランセ九州
JAPON - KYUSHU



北九州芸術劇場 中劇場
KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6階

tel.093-562-2655 fax.093-562-2588

http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp

【JR】小倉駅より徒歩10分。JR西小倉駅より徒歩3分

【バス】室町・リバーウォーク(リバーウォーク北九州)下車

【乗用車】北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分 *専用の駐車場はございません。

【空港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分

リバーウォーク北九州(30分150円)ほか周辺の駐車場をご利用ください。

公演時には劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています。